

ルネサスエレクトロニクス株式会社 (2021 年グリーンボンド)

契約の種類：アニュアルレビュー

日付：2022 年 11 月 2 日

担当者：

Kosuke Kanematsu, kosuke.kanematsu@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2277

Yukie Osari, yukie.osari@sustainalytics.com, (+81) 3 4520 2192

はじめに

2021 年 11 月、ルネサスエレクトロニクス株式会社（以下、「ルネサス」）はクリーン輸送、エネルギー効率、再生可能エネルギー、持続可能な水資源及び廃水管理に関連するプロジェクトへのファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（3 年債 500 百万米ドル、以下「2021 年グリーンボンド」）。その調達資金は、2022 年 9 月 30 日時点で複数のクリーン輸送及びエネルギー効率に係るプロジェクトに充当されています。2022 年 10 月、ルネサスは、2021 年グリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトがルネサスエレクトロニクス株式会社グリーンボンド・フレームワーク（以下、「フレームワーク」）¹で設定された資金使途のクライテリアやレポーティングの指標に合致しているかについての評価を、サステイナリティクスに委託しました。

評価基準

サステイナリティクスは、以下の要件について、2021 年 11 月から 2022 年 9 月の間に調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対するインパクト指標に関する報告

充当を受けた調達資金の使途のカテゴリーに対する適格クライテリア及び関連するインパクト指標を表 1 に示します。

表 1：調達資金の使途、適格クライテリア及びインパクト指標

調達資金の使途	適格クライテリア	インパクト指標
クリーン輸送	1. スマート電気自動車ソリューション 自動車のCO₂排出量の削減に貢献する電気自動車向けソリューション 2. スマート自動運転ソリューション 自動車のエネルギー消費量の削減のほか、ドライバーを潜在的な事故から守り安全性の向上にも貢献するAD及びADAS向けソリューション	当社は、実務上可能な範囲でグリーンボンドによる調達資金が充当されたプロジェクトの環境改善効果について報告を行う。同報告にはプロジェクトの成果と効果に関する定性的レポートおよび／または事例レポートが含まれる場合がある。透明性向上のため、データおよび影響評価の方法を適宜開示する場合がある。
エネルギー効率	3. スマート・データセンター・ソリューション DDR 4からDDR 5への移行に伴い、帯域幅を増やすのみならず、エネルギー効率の向上に貢献する次世代のデータセンター向けソリューション	同上

¹ ルネサスエレクトロニクス株式会社グリーンボンド・フレームワークは、こちらよりご覧頂けます：
<https://www.renesas.com/jp/ia/document/oth/green-bond-framework>

	4. スマート・セルラー・ソリューション 通信を高速化し、一度により多くのデバイスを接続することを可能にするほか、エネルギー効率の向上に貢献する5G向けソリューション 5. スマート社会ソリューション 産業セクターから再生可能エネルギー、家電製品やIoTデバイスに至るまで様々な分野のアプリケーションにおけるCO2排出量の削減とエネルギー効率の向上に貢献するソリューション 6. 当社のグリーン・デバイス及びテクノロジー エネルギー消費量の削減に貢献する様々な製品ポートフォリオや技術および環境に優しい製品の開発	
--	--	--

発行体の責任

ルネサスは、プロジェクトの概要説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

独立性と品質管理

投資家に ESG とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界を牽引するサステナリティクスは、ルネサスの 2021 年グリーンボンドによる調達資金の使途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、ルネサスの従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、適格カテゴリー内の対象プロジェクトに関してルネサスから提示された情報と事実に基づいています。ルネサスが不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内サステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果²、すべての重要な側面において、ルネサスエレクトロニクス株式会社の 2021 年グリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、ルネサスエレクトロニクス株式会社グリーンボンド・フレームワークで規定された資金使途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。ルネサスは、サステナリティクスに対し、2021 年グリーンボンドの調達資金が 2022 年 9 月 30 日時点で全額充当されていたことを開示しました。

² サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

評価基準	調査手順	調査結果	特定された過失 または例外
資金使途クライ テリア	2021 年 11 月から 2022 年 9 月の間に、 2021 年グリーンボンドの調達資金が充当 されたプロジェクトを対象に、フレーム ワーク及び上の表 1 に示されている資金 使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したプロジェク トは資金使途クライ テリアに適合してい ました。	該当なし
レポーティング クライテリア	2021 年 11 月から 2022 年 9 月の間に、 2021 年グリーンボンドの調達資金が充当 されたプロジェクトを対象に、プロジェ クトによるインパクトがフレームワーク 及び上の表 1 に示されているインパクト 指標と適合する形で報告されたかを検 証。	審査したプロジェク トにおいて、フレー ムワークで設定され た各資金使途クライ テリアに対するイン パクト指標が報告さ れていました。	該当なし

参考資料

参考資料 1：グリーンボンドの調達資金の充当状況

調達資金の 使途の カテゴリー	プロジェクト概要	調達資金の 充当額 (百万米ドル)
クリーン輸送	1. スマート電気自動車ソリューション	34
	2. スマート自動運転ソリューション	283
エネルギー 効率	3. スマート・データセンター・ソリューション	53
	4. スマート・セルラー・ソリューション	11
	5. スマート社会ソリューション	96
	6. 当社のグリーン・デバイス及びテクノロジー	23
調達資金の充当額合計：		500
調達資金の未充当額合計：		0
グリーンボンド発行による調達資金の手取り額合計：		500

参考資料 2：インパクトレポーティング³

調達資金の使途の カテゴリー	インパクト概要（抜粋）
クリーン輸送	- バッテリー・マネジメント・システム（BMS）に使用される RH850 等のマイクロコントローラ（MCU）は、競合製品対比で電力消費量を 60-65%削減します。 - 当社のパワー・マネジメント IC（PMIC）は競合製品対比で電力ロスを最大 33%削減します。
エネルギー効率	- 送受信機 F5288 は、競合企業の類似製品と比べて、33%少ない電力消費量で稼働し、年間 8,400 トンの GHG 排出量削減を実現します。 - 当社の低電力建設の知見を活かした第 8 世代 IGBTs は、全てのシステムにおいて 30%以上の電力ロス削減、エネルギー効率の向上を可能にします。 - ファクトリー・オートメーションで活用される RZ/V マイクロプロセッサ（MPU）は、従来製品対比で電力消費量を 80%削減することが出来ます。 - ルネサスの MCU 製品ポートフォリオの中での RL78, RX, and RA は、従来製品対比で 30%少ない電力消費量を実現します。

³ ルネサスによるインパクトレポーティングは、こちらよりご覧頂けます：<https://www.renesas.com/jp/ja/about/company/sustainability>

免責事項

© Sustainalytics 2022 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（１）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（２）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（３）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（４）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（５）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

英語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は英語版が優先されるものとします。

サステナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。30年以上の間、グローバルな投資家の進化するニーズに応える高品質かつ先進的なソリューションを提供し続けています。その上で、ESG及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、サステナリティクスは、数百に及ぶ企業や金融仲介者と協働してサステナビリティに関連する方針、実務、資金調達の検討を支援しています。サステナリティクスは、世界17カ所にオフィスを構え、40以上の産業グループにまたがる様々な分野の専門知識を持つ500人以上のアナリストを含む、1500人以上のスタッフを擁しています。

詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。

又は、contact@sustainalytics.com にご連絡ください。

